

「衛星・地上観測によるジオスペース波動粒子相互作用観測の検討会議」

●会議報告：

本会議では、特別推進研究：「地上多点ネットワークによる内部磁気圏の粒子・波動の変動メカニズムの研究(PWING)」の主催で、2016年12月21-22日にかけて鹿児島県垂水市垂水市市民館にて開催されました。ここでは、2016年12月20日に鹿児島県内之浦から打ち上げられたジオスペース探査衛星(あらせ)と地上観測網を組み合わせた研究体制の構築に向けて、現在推進中の内部磁気圏における電磁場、プラズマ環境変動についての地上・衛星観測データ解析および波動粒子相互作用に関するシミュレーション結果に関する研究発表が中心に行われました。その他、PWINGで企画されているキャンペーン観測計画案や地上観測データを一元的に取り扱うデータベース構築と解析環境整備に関する研究発表などもありました。総合討論では、あらせ衛星打ち上げ後、2016年の春一夏の観測で主対象となる内部磁気圏朝側におけるコーラス波動による高エネルギー電子の加速、散乱過程、および高エネルギー電子の降り込み過程に関する研究について、衛星のバースト観測と地上観測によるキャンペーン観測の進め方を中心とした議論・検討がなされました。また、2日目の午前中に名古屋大学宇宙地球環境研究所の鹿児島観測所の見学が行われました。



検討会議風景。

●研究集会プログラム：

==== 12/21 (水) ====

13:30-13:40 趣旨説明、事務連絡等

13:40-14:10: 新堀 (名大 ISEE)

地上-衛星観測に基づく磁気嵐時におけるグローバルな地球プラズマ圏ダイナミクスと今後の研究計画

14:10-14:40: 梅村 (名大 ISEE)

PWING と IUGONET の連携 - 多点データの即時比較・解析に関する提案 -

14:40-15:10: 堀 (東大)

SuperDARN レーダーデータを用いた電離圏電場モデリング

15:10-15:30 休憩

15:30-16:00: 米津 (名大 ISEE)

Longitudinal extent of magnetospheric ELF/VLF emissions simultaneously observed at Athabasca, Kannuslehto, and Syowa Station.

16:00-16:30

総合討論 I

==== 12/22 (木) ====

09:00 - 09:30: 塩川 (名大 ISEE)

PWING Project の紹介

09:30-11:00: ISEE 鹿児島観測所見学

11:00 - 12:30 昼食休憩

12:30-13:00: 笠原 (金沢大)

ERG/PWE 観測計画

13:00-13:30: 久保田 (京大)

The rapid loss process of the radiation belt electrons through interaction with EMIC rising-tone emissions

13:30-14:00: 小路 (名大 ISEE)

電磁イオンサイクロトロン放射の非線形相互作用のシミュレーション

14:00 - 14:20 休憩

14:20-15:50

総合討論 II